【報告】
カトリック横浜教区三島教会
2025 年「ラウダート・シ」週間における取り組み

①目的・内容

2024 年に発行された司教団文書『見よ、それはきわめてよかった－総合的なエコロジーへの招き』にもとづいたワークショップを行い、エコロジカルな回心について一人ひとりが考え、地球のために今後のカトリック三島教会が取り組んでいく方法についてともに話し合う。

②参加者

三島教会と熱海教会の信徒　25 名　（ファシリテーター：三島教会信徒　鈴木和枝）

③実施日

2025 年 5 月 25 日（日）　主日のミサの前の時間

④実施内容

(ⅰ)はじめに

・「私たちの地球のための祈り」（回勅『ラウダート・シ』より）

(ⅱ)ファシリテーターによる講話

・地球全体、また国内の環境問題の現状について
・エコロジカルな回心の必要について

(ⅲ)見る・識別する

・『見よ、それはきわめてよかった－総合的なエコロジーへの招き』の第Ⅰ部を読み、各自ふりかえった。
・考えたことなどを 2～3 人ずつで分かち合った。

(ⅳ)行動する（「行動する」の準備）

・5 人Ⅰグループで、教会でできることとして以下のことを行った。

グループ名	内容
ミシマザクラ	「ラウダート・シ」週間のエコカレンダーを作成する。
ミシマサイコ	エコロジカルな回心をアピールするポスターを作成して、教会の前の掲示板に貼る。
富士山	９月Ⅰ日～Ⅰ０月４日「すべてのいのちを守るための月間（被造物の季節）」に教会で取り組むことの提案書を作成する。
サンコウチョウ	環境問題を考える本を子どもたちに紹介する企画を作成する。
カワセミ	復活祭の教皇フランシスコのメッセージを地図にまとめて、教会に掲示する。

(ⅴ)まとめなど

・各班で話し合ってつくったものについて発表。
・「聖年の祈り」を全員で唱えた。
・ワークショップの後のミサで、
各班で作成されたものを奉納し、
そのあと活用・実践に向けて準備。

⑤課題

・ペルー出身の信徒の参加もあり、参加者の多様性があったと言えるがもっと若い信徒の参加があるとよかった。（おそらく今回は 30 歳代以上）
・ここでこの取り組みが終わらないようなワークを行ったので、継続的に実施できることを期待しながら今後も教会委員会などにはたらきかけ、続けていきたい。